

道路排水の先は調整未実施

事例の概要

地元住民からの要望があり排水路を整備することになりました。流末については、道路改築事業に伴い、路面排水（U型側溝300×300）の流末処理を道路縦断勾配の関係から自然流下で用水路へ流す計画でした。工事を着工してから、地元水利組合より用水路に流すとゴミや砂利が田んぼに入るので排水路に流してほしいとの要望があり、やむなく工事を中止しました。

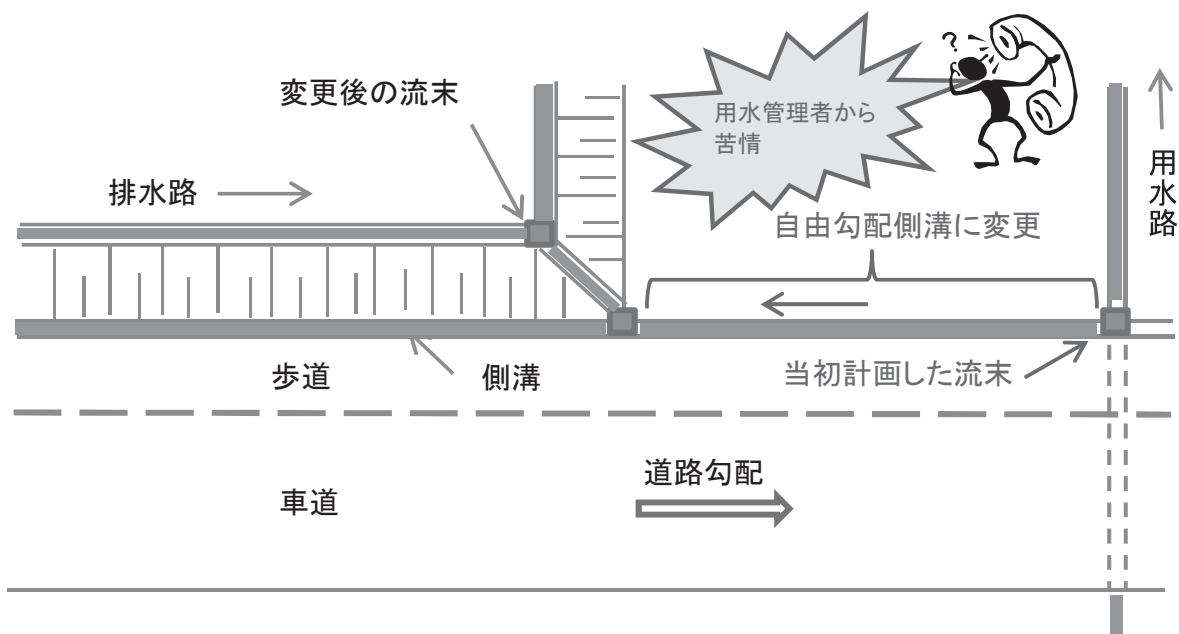
原因

地元水利組合との調整を行わず工事を実施

したことが、今回の結果を招きました。水利用に関しては非常に重要であることから、地元水利組合の意見を聴取し工事計画に反映する必要がありますがありました。

対応策と教訓

- ①U型側溝を自由勾配側溝に変更し排水路を流末としました。
- ②道路設計時に道路排水の流末を確認し、事前に排水先の水路管理者と協議を済ませておきましょう。



※自由勾配側溝とは、現場で側溝本体を据付後に底版にインバートコンクリート（調整コンクリート）を打設することで、道路の勾配に関係なく水路勾配（水の流れ）を自由に設定できる側溝のことをいいます。